

基本目標1	誰一人取り残さない！希望あふれるまち「とくしま」の創造
政策1	子どもたちが健やかに育ち、生きる力を育むまちづくり
★施策1	子ども・子育て支援の充実
A	重点事業の多くが施策目標の達成に効果的である。施策推進による成果が見られるためA評価とした。事業のうち、とくしま在宅育児応援クーポン事業において、クーポン利用率が当初の計画より1/2とかなり低くなっていることが気になる。利用されてこそそのクーポンなので、広報の徹底を期待する。
B	新型コロナウイルスの影響もあるなか目標に対して順調に進捗しており、重点事業も施策に合致している。市民満足度指標が悪化している点を考慮してB評価とした。
★施策2	学校教育の充実
A	コロナ禍で実施できなかった事業もあるが、指標を長期的に見て捉えると、今後の目的達成に期待がもてる。概ねそれぞれの事業目標は達成できている。
B	目標値に対して概ね順調に推移している。また、重点事業の実績値も計画に近い数値となっていることからB評価とした。重点事業④「小中学校情報教育推進事業」の教員のICT活用指導力の達成率(%)の意味がよく分からない。
★施策3	教育環境の向上
A	順調に推移していることからA評価とした。
B	目標値は概ね達成できているが、成果指標のトイレ洋式化や改修工事に関しての当初計画が低かったのではないかと考えられるためB評価とした。ICT充実のための事業は総合計画に基づき順調に進んでいる。
施策4	青少年の健全育成
B	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施できなかった事業や縮小して実施した事業があったため十分な実績を上げられなかった指標もあるが、事業自体は進展しており今後の積極的な事業実施に期待できるためB評価とした。
B	成果指標自体は目標値に届かず悪化しているものも目立つが、新型コロナウイルスの影響の影響を考慮してB評価とした。不登校児童生徒の割合の増加が顕著で深刻な問題と考えられるが、新型コロナウイルスの影響による家庭環境の変化等が原因だとすると事業の方向性も変える必要があるのでは。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策2	誰もが生涯にわたり元気で健康に暮らせるまちづくり
★施策5	健康づくりの推進
B	全国的な傾向であるが、新型コロナウイルス感染拡大によって健診率が下がっている。さらに糖尿病罹患率やメタボリックシンドローム該当者等が増えており引き続き重点事業としての取り組みが必要である。
C	成果指標が足踏み又は悪化しているものが多いことからC評価とした。特に4「糖尿病有病者及び予備群の割合」及び5「メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合」については顕著に悪化している。
施策6	社会保障の充実
B	新型コロナウイルス感染拡大の影響をほとんどの事業が受けて縮小している。しかしその中でも成果指標3「生活困窮者自立支援プラン作成件数」は実績が大きく上がっており生活困窮者の自立支援に向けての努力も見られるためB評価とした。
B	成果指標が概ね順調に推移していることからB評価とした。成果指標3「生活困窮者自立支援プラン作成件数」に関しては、件数ではなく生活困窮者に対して自立支援プランを作成した割合等を指標にした方が良いのでは？
施策7	地域医療の充実
B	市民病院の運営としてほぼ目標を達成できており、市民にとって有益で特色の有る医療提供が概ね出来ている。しかし、患者満足度が上がらなかったためB評価とした。今後の改善や努力に期待する。
B	成果指標のうち、市民病院の患者満足度以外は順調に推移していることからB評価とした。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標2	多様性を認め合える！個性あふれるまち「とくしま」の創造
政策3	誰もが自分らしく安心して暮らせる共生社会を実現するまちづくり
施策8	地域福祉の充実
B	福祉ボランティアのNPO化(orNPO法人化)を図るのであれば事業④「福祉ボランティア等の育成と活動支援」に結成ノウハウを普及する行事を入れる必要があろう。
B	成果指標は、目標値に向かっておおむね上昇している。 特に成年後見支援センターの機能拡充は、今後ますます高齢化並びに単独世帯の増加が予想される地域課題解決のための大きな支えとなる。 ただ、成果指標の内、避難行動要支援者の個別計画作成実績が伸び悩んでおり、重点事業でもあるよう支援者名簿作成のための情報提供同意者数も計画数値を下回っている。災害弱者への対策は喫緊の課題として、取組みの充実を図って頂きたい。
★施策9	高齢者福祉の充実
A	拡充にあたり、後見制度利用の「ニーズ把握」と「ニーズの今後の予測」が必要かと思われる。
B	成果指標は、目標値に向かっておおむね上昇しているが、市民満足度指標として「老後も安心して生活できると感じる市民の割合」が令和2年度から6ポイント減少していることが気になる。 これは就労や年金も含めて経済的な生活基盤や、健康維持、地域社会の中での交流など多面的な要素が含まれると考えられるが、現実問題として地域の担い手の高齢化が進む中で、「老人クラブ」(名称はさておき)の在り方や行政としてのサポートの方法も再考することが必要ではないだろうか。
施策10	障害者福祉の充実
B	成果指標の内、「障害福祉サービス利用実人数」は年々増加し、令和5年度の目標値を既に超えている。障害別では知的障害、精神障害、難病障害が増加しているとの所見があるが、コロナ禍あるいはアフターコロナの時期だからこそ、「誰一人取り残すことはしない」この分野の施策充実を望まれる。
B	なし
★施策11	人権尊重・多文化共生社会の実現
A	法務局との連携が望ましい。人権教育の質の高度化。そして知識定着率の向上をはかる小テストの実施、その正答率の指標化など その意味では施策15「生涯学習の推進」の事業②「人権教育促進事業」は、この項目へ整理？
B	成果指標の内、2つの市民満足度は向上しているが、人権教育・啓発事業への参加者が減少している。 コロナの影響があったとはいえ、重点事業の内訳でも参加者が大きく減少している。オンライン開催の拡充、オンデマンド方式の導入等も検討が必要ではないだろうか。 半面、外国人相談支援や国際理解事業が着実に実績を積んでいる点は評価できる。
★施策12	男女共同参画社会の実現
A	なし
B	成果指標はおおむね順調に上昇している。 ただ、この分野については達成度を計測することが難しい。「審議会等への女性委員の登用」は伸びているとはいえ33.5%、およそ3分の1に留まっている。 未来都市に選定されたことを大きなチャンスとして、D&Iを一層推進して頂きたい。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策4	市民一人ひとりがいきいきと輝くまちづくり
★施策13	文化芸術活動の振興
A	<p>コロナの影響を受けながらも各成果指標は上昇しており、達成に近づきつつある。特に重点事業の中の「ホールボランティア・市民グループ登録者数」と「文化活動アドバイザー業務実施件数」はわずかではあるが計画値を上回っており、他の事業もほぼ計画を達成できていることを評価したい。</p>
B	なし
施策14	スポーツ・レクリエーション活動の振興
B	<p>コロナの影響を受けないように工夫をしていくことは必要。</p>
B	<p>スポーツやレクリエーション活動は、コロナの影響を最も受けやすい分野であるため、成果指標も重点事業も進捗状況に大きな差が出ている。オンラインで開催できるものと、開催が難しいものがあることは理解できるため、アフターコロナでの新しい形のイベント開催方法を模索して頂きたい。</p>
施策15	生涯学習の推進
A	<p>電子図書館の拡充に期待します。</p>
A	<p>成果指標の中で特に「主な生涯学習活動への参加者数」が落ち込んではいないが、重点事業の中身からコロナの影響で在宅時間が長くなったことと運営者側の創意工夫の結果から、これまでとは違った層が生涯教育関連の参加につながったのではないかと推測する。地域の特性を活かした「学び」の機会の提供に期待したい。</p>
施策16	地域自治・協働の推進
B	<p>協働事業内容そのものは良いのだが、CFの方法がうまくいかないものがある。昨今CFの件数が増えて、埋没してしまっている嫌いがある。ふるさと納税の一層の活用を期待。</p>
B	<p>「NPO等との協働事業数」や「ボランティア活動などの市民活動が盛んであると感じる割合」は減少しているが、地域まちづくり計画策定や市民協働事業の実施など、「地域のことは地域で解決」するための基盤づくりは着実に継続している。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標3		強靱で未来へと続く！ 安心あふれるまち「とくしま」の創造
政策5		市民の生命や安全な暮らしをまもるまちづくり
施策17		防災・減災対策の強化
B	<p>成果指標1「地区別津波避難計画策定率」以外の指標については進展がみられず目標達成に向けてやや厳しい状況にあると考えられる。ただし、コロナ過での自粛に伴う影響を考慮し、総合的に判断してB評価とした。今後、コロナ禍を前提とした取組が求められるといえる。</p> <p>なお、各重点事業は「目指すべき姿」にある市民の「自助」との関係性が弱いのではないかな。</p>	
B	<p>市民参加が求められる事業は計画通りに進行していないが、防災意識向上の啓発を行うなど努力が認められる。ハザードマップの作成など市役所内で実施できることについては計画以上に進展している。全体的にはコロナ収束となれば施策は十分に達成できる可能性があると考えB評価とした。各事業について単年度目標の達成に拘らず施策全体として最終目標に向かって進めていただきたい。また新型コロナウイルス蔓延の長期化を視野に入れた事業内容の修正が必要だと考える。</p>	
施策18		消防・救急体制の充実
B	<p>成果指標のうち、「住宅用火災警報器の設置率」及び「小・中学校及び高等学校の救命講習実施率」については、目標達成が可能な水準にあると推察されるが、「防火・防災訓練等への参加者数」及び「災害への備えが整っていると感じる市民の割合」については不透明である。総合的に判断してB評価とした。</p>	
B	<p>コロナ禍の影響を受けて事業目標が達成できていないものもあるが、数字的におおよそ達成できているように思われる。「次世代の救急救命育成プロジェクト」は計画、実績、目標の関連性が弱いと考えられ評価が難しい。「災害時オペレーションシステムの整備」については、活用した「実数」「内容」「効果」が具体的に説明されていないため評価が難しい。「消防団の活性化」では、機能別消防団員の充足率100%は理想だが達成は難しいのではないかな。以上の理由からB評価とした。</p>	
★施策19		生活安全の推進
B	<p>成果指標はいずれも目標達成ないし達成可能な水準にある。ただし、成果指標1「刑法犯認知件数」及び成果指標2「交通事故発生件数」はコロナ過での自粛に伴う結果である可能性が高く、総合的に判断してB評価とした。</p> <p>なお、重点事業のうち、防犯に関する取り組みが手薄なように思われる。</p>	
C	<p>どの事業も評価が難しく全体として厳しい評価になる。例えば「交通ルールの周知・啓発」の事業概要説明は「ルールブックを作成し、配布します」と書かれ、確かに目標をクリアしており進捗状況はAとしている。しかし配布だけで「学ぶことができた」かどうか非常に怪しい。</p> <p>「交通安全教室及び交通安全キャンペーンの実施」の進捗状況はBであるが、重点を置く高齢者の受講者人数の達成度は21%であり概ね順調とは言えない。またルールブックの作成と配布が進捗状況にあるとおりの成果を上げているのであれば、これに倣って高齢者交通安全教室を代替実施できないだろうか。</p> <p>「消費者啓発事業」の進捗状況はBであるが、計画事業費の90%を消化しながら達成度は6%であることから概ね順調とは言えない。</p> <p>以上の理由から本施策全体としてはC評価とする。講座関係はコロナ禍の影響を大きく受けやすいので目標達成は難しいと思われるが、終息まで時間がかかりそうな状況である。コロナ対応型の事業内容(オンライン等を利用したもの)とすることが望まれる。</p>	
★施策20		生活道路の整備
A	<p>成果指標のうち、3つがR5の目標値を達成しており、その他も達成可能な水準にあると考えられる。総合的に判断してA評価とした。</p>	
B	<p>どの事業も概ね目標値を達成しているし、成果指標も概ね達成できていると判断できるのでB評価とする。ただし「無電柱化事業」は具体的な目標や調査研究内容が記されていないために評価が難しい。「自転車通行空間の整備」は事業目標が累計であるため単年度の評価が難しい。自転車通行空間の整備については財源確保を行い目標が達成できるように努めて欲しい。どの項目も防災対策として重要なので今後も確実な実施を期待したい。</p>	

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

施策21	上水道の整備
B	<p>成果指標のうち、「水道管の耐震管率」は進捗がみられる。それ以外の指標についてもR5目標達成は十分達成可能な水準にある。ただし、人口移動等の不確実な影響を受ける指標があり、総合的に判断してB評価とした。</p>
B	<p>どの事業・成果指標も目標値を達成できたか、概ね目標値を達成できたのでB評価とする。なお成果指標1の「上水道普及率」は、その所見にあるように徳島市の努力が及ばない理由で改善されることがあるので、今後は参考程度とするのが良いと考える。また市民満足度指標がほぼ横這い(若干の減少傾向)である理由を探り、対処に努めて欲しい。</p>
施策22	雨水対策の推進
B	<p>成果指標のうち、「水路等の一斉清掃」以外の指標については、R5目標達成ないし達成可能な水準にある。「水路等の一斉清掃」については、コロナ禍での目標達成は厳しい状況にあるのではないかとと思われる。総合的に判断してB評価とした。</p>
B	<p>どの事業・成果指標も目標値を達成できたか、概ね目標値を達成できたのでB評価とする。「一斉清掃事業」は住民参加が基本となるためコロナ禍の影響では実施できなかったことは考慮するが、一部に自主的に活動した団体があったことから聞き取り調査等を実施して欲しい。その中に少子高齢化や人口減少の進行、価値観やライフスタイル多様化、コロナ禍での事業継続に関するヒントが隠されているのではないかと考える。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策6	豊かな自然環境と快適な生活環境が充実した住みやすいまちづくり
<p>施策23</p> <p>環境の保全と向上</p>	<p>B</p> <p>成果指標のうち、「環境基準の達成状況」及び「市域からの温室効果ガス総排出量」は、R5目標達成ないし達成可能な水準にある。しかし、それ以外の指標については、目標達成に向けて課題があると思われる。総合的に判断してB評価とした。</p> <hr/> <p>B</p> <p>おおよそ全ての事業・成果指標で目標値を達成できたか、概ね目標値を達成できたと考えられるのでB評価とする。ただし「良好な水質、大気環境等の保全事業」の進捗状況はAとなっているが、概要には「工場・事業所への立入調査による…」とある。事業の効果検証欄を読む限り、環境調査に留まっているかのようなので、改善の取り組みも行って欲しい。「環境保全啓発事業」ではコロナ禍にも関わらず出前環境教室の申込が多かったとあり、累計ではあるが事業目標を1.5倍を上回る成果となっている。その背景や理由を調査して情報の共有化を図れば、コロナ禍の影響を受けて事業が滞った他の事業の改善に繋がると考える。</p>
<p>施策24</p> <p>循環型社会・廃棄物処理の推進</p>	<p>B</p> <p>成果指標は、いずれも前年度からの進展がみられる。ただし、R5の目標値の達成がやや厳しい状況にあると推察される。総合的にB評価とした。</p> <p>なお、施策の目指すべき姿にある「新たな一般廃棄物中間処理施設の整備が進み、廃棄物を適正に処理する環境が整っています」に対応する成果指標がなく、事業進捗に関する指標設定の必要性がある。</p> <hr/> <p>B</p> <p>「一般廃棄物中間処理施設整備事業」(進捗状況B)は本施策の基幹事業である。他の事業の進捗状況はいずれもAであるが、施策全体としてはB評価とする。中間処理施設建設予定地周辺の住民の理解・協力を得て実現することが肝要であり、やや遅れが生じたのはやむを得ないと考える。慎重にかつ確実な事業実施をお願いしたい。「資源分別収集の推進」に寄与するエコステーションの利用が伸びている。その拡充・増設が検討されているが、運搬手段を持たない市民(高齢者等)への配慮も必要だと考える。有料(あるいは年齢制限付で年1回まで無料など)でも良いので回収サービスの導入等を検討してはどうか。</p>
<p>★施策25</p> <p>污水対策の推進</p>	<p>B</p> <p>成果指標のうち、「污水処理人口普及率」はR5の目標達成が可能な水準にある。しかし、市民満足度の目標達成が厳しいように思われ、また、「下水道ストックマネジメント計画に基づく施設管理の進捗率」については、目標達成がほぼ不可能とのことである。総合的に判断して、(Cよりの)B評価とした。</p> <hr/> <p>C</p> <p>「下水道ストックマネジメント計画に基づく施設管理の進捗率」「市民満足度」「下水道管渠改築事業」の目標達成度・事業進捗を見る限り、成果指標や重点事業の目標見直しが必要だと考え、C評価とする。「浄化槽設置推進事業」のように目標を上回る実績(106%)を残したのものもあるが、事業予算規模の大きな「下水道管渠改築事業」(22%)、「下水道施設の老朽化対策」(63%)もあり、本施策の全体評価はC評価とする。コロナ禍の影響で資材調達の面などで影響を受けていることを鑑みて、確実な事業を継続実施するために、各事業の内容の見直しと目標値の再設定が必要である。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

<p>施策26</p>	<p>多機能な都市空間の創出</p>
<p>B</p>	<p>成果指標のうち、「緑化推進事業参加者数」はR5の目標達成が可能な水準にある。「老朽化施設等の計画的な維持管理(公園)数」と市民満足度は前年度より進捗がみられるものの、R5目標値の達成はやや厳しいように思われる。「動物園入園者数」については減少傾向である。 なお、この施策の目指す姿に対して、動物園事業や希少動物保護事業が重点事業(手段)となっていることには違和感がある。 総合的に判断して、(Cよりの)B評価とした。</p>
<p>B</p>	<p>コロナ禍の影響を強く受けた「動物園」に関する成果指標と進捗状況が芳しくない。また「老朽化施設等の維持管理」は単年度では目標を達成できているものの累計では大きく遅れている。それ以外の各重点事業は概ね順調だと判断されるので、施策の全体評価はB評価とする。動物園についてはリニューアル事業の確実な実施とともに、新型コロナウイルスや鳥インフルエンザ、今後の新感染症などに対する対策が望まれる。</p>
<p>施策27</p>	<p>住環境の整備</p>
<p>A</p>	<p>成果指標のいずれにも進捗がみられ、また、R5の目標値の達成も十分可能な水準にある。総合的に判断してA評価とした。</p>
<p>A</p>	<p>全ての成果指標、「空家等対策事業」を除く重点事業、いずれも滞りなく進展しているか、目標以上の実績となっている。進捗状況がB評価の「空家等対策事業」についても達成度は80%であることから施策全体としてはA評価とする。各事業の進捗は問題がないと思われるが、現実的には問題となる空家や危険ブロック塀を見かけることが多い。空家データベースの更新も完了したことからこの活用を図り、より一層の徳島市全体の住環境整備が望まれる。</p>

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

基本目標4	地域経済を牽引する！ 活力あふれるまち「とくしま」の創造
政策7	市民の豊かな暮らしと社会を支える経済基盤を確立するまちづくり
施策28	農林水産業の振興
B	成果指標については、全体的に目標達成に向けて進んでおり、重点事業も有効な内容であると考えられる。しかし、一部の事業がコロナ禍において停滞しているようなので、向上を図っていただきたくB評価とした。
B	成果指標は概ね順調に推移している。一方で、重点事業と成果指標の結びつきがわかりにくい項目や評価に反映しにくい項目がみられる。最終目標である「目指すべき姿」の実現に対し、成果指標の達成だけでは判断できない内容がある。例えば、「国内外に向けた新たな販売ルートを有する」「女性やシニア就農などの多様な担い手により構成」など。
施策29	地域産業の振興
B	コロナ禍の影響を受けながらも、全ての成果指標について、概ね順調に進んでいる。しかし、技術革新によるイノベーションの創出という面では、まだまだ期待したいところであり、B評価とした。
B	成果指標は概ね順調に推移している。目指すべき姿には、AI・5G・ICTの活用など、デジタルに関する文言が多く盛り込まれているが、重点事業などに落とし込んだ時に、その視点が弱いように感じられる。
施策30	商業・サービス業の振興
B	小売業者事業者数の事業所数や販売額の数字だけ見ると、目標値に近づいているように見えるが、実際の中心商業地の活性化を考えると課題は多いと考えるのでB評価とした。
B	成果指標は概ね順調に推移していると思われるが、実績値のデータが古いため判断が難しい。確定値でなくてもいいので、足元の状況を把握していないと、事業の推進が目標の達成に寄与しているのか分析できないので、事業を見直すべきかの見極めができないのではないかと。流通拠点や食育センターについては、現在検討中とのことなので、目指すべき姿の実現につながるよう、親しみのある身近な施設となるよう進めてほしい。
★施策31	働く環境づくりの推進
A	コロナ禍によりテレワーク等の多様な働き方が進み、特に女性や若者の就労意識向上に向けた事業に成果が見られたのでA評価とした。継続的に取り組んでほしい。
B	成果指標の一部に、目標値の達成が困難だと感じられる項目もあるため、Bとした。働き方改革は、法律の施行にあわせて企業ごとに対応が求められるため、今後も進んでいくものと思われる。成果指標として定めた時点から、行政に求められる役割に変化があるように思われる。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である

政策8	まちのにぎわいと人の流れを創出するまちづくり
施策32	人等が集う求心力の高いまちづくりの推進
A	コロナ禍により全国的な地方回帰の流れによって、本市も移住者数が順調に伸びており、ふるさと納税の寄付金額も伸びているためA評価とした。
A	成果指標が順調に推移している。ふるさと納税については、全国的にも寄付金額が増加している。額ではなく、増加率を全国と比較することも必要ではないか。
施策33	コンパクトで機能的なまちづくりの推進
B	中心市街地の交流人口と定住人口の増加を目指しているが、一定の効果が見られる事業があるものの、成果指標の実績値で見ると目標に達していないためB評価とした。
B	コロナ禍において、目標値の達成に向けて進捗させることが困難な指標が多く、判断が難しい。目標とする姿の実現には、策定後の計画の推進が不可欠であるため、継続して取り組んでほしい。
★施策34	観光・交流の促進
B	コロナにより特に影響が大きい産業であり、コロナ前の水準に戻るのはまだ先のことだと思われる。今は、種まきの期間と捉え、徳島市の魅力や資源を再発見するとともに、ブラッシュアップすることに注力してほしい。
C	観光客入り込み数の実績値で見ると、コロナ禍の影響を受けて減少しているのでC評価とした。今後につながる観光・交流の促進対策に期待したい。
施策35	文化財の保存と活用
B	文化財の保存については、ある程度の実績があるものの、歴史や文化財を活用したまちづくりについては推進不足と考えB評価とした。
B	市民満足度の指標が伸びておらず、目指すべき姿の「文化財に接することができる環境の創出」などが不十分であるように思われる。保護の面ではほぼ計画通りに進んでいると思われるため、活用に対しての推進を強化する必要があるのではないか。

【評価区分】

A:順調に進捗している B:概ね順調に進捗している C:改善が必要である